

第7回逗子の未来協議会 グループワーク「情報共有」まとめ

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
1	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会で先送り議題が分からない ・市議会での論議内容の公開 ・市長はマニフェストを公表して、1年ごとに実施内容をチェック ・自治会それぞれの活動内容、課題 ・医療関係の討論会は今日された。それは知らなかった。公開が共有されない現実がある ・情報が伝わっていない(ex:病院誘致の話、開催日時) ・リアルタイムの情報が欲しい → 広報誌には載らない日程 → 進ちよく情報を常に ・自治会の活動内容 ・生活に密着した情報が欲しい まとめる人がいない ex: 祭りとかあると目が向く 子育てが興味あるテーマ 人を集める、顔見知り 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で個人がつぶやく(ネットワークで) →ここから交流が始まる これを市がまとめていく ・縦割り行政の改善を！ 必要な情報が手に入らない いかに市民が情報を見るか、情報収集するかの工夫をやるべき ・情報の共有には、コミュニティ(自治会)の活動を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開 → 意見交換 → まちづくりトーク どうしたらできるの？ ・役員の成り手がいない ・メリットがないと動かない ・魅力のある自治会 <li style="text-align: center;">↓ 情報の共有には、コミュニティ(自治会)の活動を強化する

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
2	<p>【情報そのものについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰を相手にした情報なのか？ ・情報の発信元 正しい情報であるか？ ・情報の公開 ・知りたい情報は人によってそれぞれ <p>【周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開されている会議の日時 ・市民団体、サークル等の活動状況 ・防犯、防災 ・その時々知りたいことが明らかになること(公開されること) 	<p>「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性 ⇔ 受け取り側のアンテナを高める ・誰の判断で公開、非公開の決定が成されたのかが明確にされること ・公開に損得が生じないような仕組みになっているか？ <p>【発信】 PRする側</p> <p>正確な情報を確実に発信。発信後に評価を行う</p> <p>人の多く集まる場所にCRT(液晶)を設置し、情報を伝える。 デジタルサイネージによる情報発信、情報アクセス数を把握する。</p>	<p>情報共有の具体的な仕組みで考えた案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が多く集まる場所でPR ・興味のある人へ届けるように発信する ・市長・行政が実施計画を市民に繰り返しアピールする 広報が必須。これがあって初めてPCDAのプロセスに参画できる ・HPのアクセス数などを評価の基準へ ☆評価基準を作る ・意見の対極にいる人へも届くよう情報発信すべき。 ・発信側と受信側との問題あり → 共有化 味付け ← テーマの興味がある… ・受信側を常に興味を保持させる為の発信力を高める 努力が行政に求められる ・発信とキャッチがうまくいくこと ・キャッチしてもらうため発信を続けていくこと ・情報を市民がキャッチしやすい方法や仕組みを考える 必要あり <p>【受信】 キャッチする側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりトーク等、市民参加の機会(要周知) ・スマートフォン等活用して、市民から写真やメッセージを投稿してもらう ・デジタルサイネージによる情報発信。駅や商店街 ・分かりやすい、目につくキャッチコピー、市民の投稿による「思い」や「キャッチコピー」を載せる場を作る <p>オーロラビジョン 広告でコスト削減 市行政・市議会情報</p>

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
3	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ご近所のみ</u>が知っている小地域の情報(市も把握していないような) ・地域のローカル情報 ・市民がもっている情報(ローカルな情報) ・自治会での話題 ・市内在中の人と会う機会って?どんな集まり? ・困っていることを話せる場所は? ・市民が気にしていること ・市議会議員の活動情報 ・公約と達成度 ・支援が必要な人 ・市の方針が分からない ・幸福度と不幸度(格差) ・財政の収支バランス 予算ではなく企業のPL/BS ・個人のもつ情報(知的財産、暗黙知) →(「知」を共有財に) 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>広報</u>ずしに載せたからと言って周知していると思わないで → 活性化して ・市の情報をきちんと伝えていない ・市が市民に求めていることの達成度をつかんでいない ・自治会がないところもある → 情報を吸い上げる所 ・テレビ、ネット、フェイスブックなどいろいろな情報 → 発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開課を「情報共有課」へ ・オープン化(カウンターなくす) → 部屋や壁をなくして見える化する。 ・職員は一方的に話す(進める)のではなく、ダイアログ(対話)をしてほしい。気軽に市役所に行けるように。 ・市の情報がどこにあるか分からない。 ・情報のキャッチボール 市民が何を考え、どんな活動をしているかを常に知るための方法、ツール ・フレンドリーに市職員と話せるようになるといいのでは? → カフェスタイル → 吸収

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
4	<ul style="list-style-type: none"> ・何が知りたいか知るべきか？個人の立場での判断による ・情報の共有は必要なのか分からない ・決めなくてはならない課題は何か？ ・子育て支援 ・地域の活動の状況 ・健康医療情報 ・何らかの集いの情報（自治会議、コミュニティ会議、補助金申請など） <p>緊急性の高い情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災報告の共有化 市民・行政と議会の報告は早く ・災害や不審者に関する情報 ・防災 ・安心・安全に関わる情報 ・公共施設の情報 ・日常生活の安心・安全 		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性の高い情報 ・発信した情報がいかに正しく市民に伝わるか 防災無線 → 改良、確実に各家庭に届くように（TV、スマホetc） メール → 活用改善

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
5	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境 ・市民が望む市のあり方 ・市の方針 ・コミュニティの現状 ・市の施策の情報 ・国の制度の情報 ・市の課題・問題点 ・市民が何を望んでいるか ・議会の情報、議論している内容 ・将来、逗子市だけで財政を維持する税収はあるのか ・逗子市で空き家問題はどの程度深刻なのか ・市が施策を検討すると、何年先まで見通しているか ・「まちづくり」に関する情報(ビジョン等で情報提供されていないもの) ・市民が持続可能に住んでいくための市財政に関する情報 ・議会の情報、決定した内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の集め方 ・一人一人の意見を全て吸い上げる ・世代間の差が生じない ・迅速性(情報のスピード) ・情報交換の時間がない(若い人は仕方ない。予定などある) ・個人情報との兼ね合い ・必要な情報の個人差 ・情報発信者が手法を共有する <p>・情報操作をしない(正確な情報を) * 主に市から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メール、インターネットを活用する ・問い合わせ窓口、問合せ先を作る ・意見交換会を開く ・多数の媒体から情報を取捨する ・発信手段を増やす <p>・関心のない人に情報を伝える</p>

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
6	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子の人口減に対する逗子の対策情報 ・逗子の空き家等の情報 ・逗子の行政が期待する地域自治について ・逗子の収入源を将来どのように対策するかの方針の考え方 ・待機児童に関する情報 ・ゴミ処理場の将来図に関する情報 ・総合病院に対する将来の行政の考え方 ・高齢化対策として老人に対して補助の考え方（行政の考え方） ・小・中学校における「いじめ」の実態とその対策 ・地域自治推進のためには、地域自治の実状・仕組みを知ること。そこでの課題や問題をよりよく解決するためにはどうするか →仕組み ・5小学校区の住民自治協議会で抱えている諸問題 ・逗子の狭い地域に対しての防災対策の総合的考え方 ・行政に対して、市議員の個別申請の中身情報の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報を全市民が等しく同時に受け取ることができること ・公開された情報の取捨選択 ・出来るだけ早く「(迅速性)必要なところに、必要な情報を」公開にこだわるあまり、時間や手間がかかりすぎても仕方がない ・市内の自治活動の、目的、歴史、グループの大きさ、活動の空間的範囲(近隣、小学校区etc) ・新しい仕組みを作るには、旧来の仕組みの実情・実態を知り、そこから出発する必要がある <p>まず、一番大切なことは、「情報を知らせる」こと。知らせなければ共有できない 市内でどのような自治活動が行われているのかを知ることが第一歩 →整理し、市民に提供する 知らせることの内容が何か？が重要、先決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ずしはとても有意義 ・町の掲示板もよい ・時間的に迅速に情報共有を進め、それを使用することも必須なので「部下」(偉い人が要求するだけでも)に極力情報提供させるシステムも現実的に必要。 ・ホームページでの公開と、広報ずしによる公開(ネットとペーパー同時に) ・紙媒体とSNSの使い分け <p>地域の情報を共有するために、行政としては企画課を越えた部局間共同のアプローチ(仕組み)が必要。総合化した情報の共有とそれを生かす仕組みを要す</p>

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
7	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に関する情報 ・防犯情報 ・防災に関する情報 ・地域防災情報 ・ハザード情報(自然災害) ・困った時の窓口や民生委員?の情報 ・自分の暮らしている地域で行われるイベントなどの情報 ・行事案内 ・必要な情報 生活するために必要な情報 ex: 病院、ごみ処理等に関する情報 ・生活に根ざした情報 ゴミ、病院誘致 etc ・生活に密着をした欠かせない情報 ・物事が決まるまでの経緯 ・「自治」のために必要な「情報」が、知りたい、知るべき情報だ、と定義されないと始められない。 ・情報は、逗子市では今では、提供も公開もほぼ良く進められているが、県や国は問題が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・受動的にでも入ってくること 放っておいても目に飛び込んでくること ・人権の尊重、個人情報の尊重? 偏見をもたないこと ・情報共有が大事であると思う心構え ・地方自治は憲法にもうたわれているにも拘らず、いくら書かれても中身が貧弱だから改めて作るべきだ ・自治を進めるのに必要な「知りたい」「知るべき」情報は、それを求める時に役所がまず提供を拒まないことだ ・CIAとかKGBのような公共機関が、情報収集の妨害や誤認を働いていることを禁じるべきだ ・問い、答えが容易にできること—この根拠法令は何か? 必要なら自治基本条例にこれをうたおう <p>・発信者・受信者は門戸を常に開いておく 垣根を作らない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットに頼らない方法を工夫する必要もある ex: 地域の広報板の活用とか ・隣の住人が何でも尋ねたことを教えてくれるといい ・広報板等の利用(ネットに頼らない方法) ・誰でも集まれる空間作り <p>・他地区の成功例等を情報共有する(実際に 行う)ネットワークづくり</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・健康 ・真実 ・教育 ・子育て ・介護 ・ゴミ ・防災に(命にかかわる)聞き取りにくい ・安全(津波等) ・(条例を決める)情報を作るプロセス ・予算の使用状況(達成度) ・成果・結果の公表 まちづくりトーク、お出かけ円卓フォーラム 他 ・議会 予算 ・情報の意思決定の過程を知りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・知りたい時期に知る ・方法、媒体を選ぶ ・自分の必要な範囲で媒体を選んでいる ・行政内部の情報が出てくる(検討会の中身を公表すべき) ・知るべき・知りたい情報(どんな情報があるのか言え!) →カテゴライズする ・情報を容易に取得 ・ゴミ捨てのルールを守らないと費用がかかる →日にち・分け方が複雑(カレンダーは良い) ・介護は親が元気なうちは不要、急に来る <p>・市民自治の実現のために、 知りたい時期に知りたい・知るべき情報を情報共有できるよう、どんな情報があるのかを含め情報を容易に取得できるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ずしに目次を付けてほしい ・HPに更新日を記入すべき ・紙しか見ることができない人への対応 ・情報提供スペースを作る(人の集まるどころ) ・曜日を選ばずに ・情報モニター設備の整備

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
9	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の提出先、受け取り確認 ・声・意見を伝える方法・場所 ・自治会 ・自治の組織の必須役割(担当) ・自治の範囲は？自治会と他の任意団体との関係(現在、何もつながりがない) ・自治に要する費用、財源、使途 ・情報を知る ・日常生活していく上で、新しくできたルールを早く知りたい ・企画ができれば早くネット上に載せてもらいたい ・市内で新しく営業する店舗等の許可はどのように出されるのか？ ・大きな施設を作る予定 ex:オリンピック選手村(小坪)の案は唐突だったので ・課題と現状の問題点 →公開や知らせてもらえる 空き家、ゴミについて ・防犯・安全対策について ・高齢でもボランティアに参加したいと思うが、きっかけがつかめない <p style="color: red;"> ・医療、健康 ・医療に関して、家庭医をやってくださるお医者とは？ (登録制なのか？) ・ラジオ体操を近くの方々とやりたいが、場所確保の問題が </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会が連動する、共有する →子ども会連携 ・情報 活性化する(ネット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市内にある自治会活動の様子をネット上でよいので公開し、お互い活動の刺激を受けるのもよいと思う ・市民がもつ情報を上げていくのは逆にどうすればよいのか？ ・メインの情報提供する場所(資料)はどこか？ ・若い人のアイデアが欲しいので、ネット上でいいので“アイデア提案サイト”を作る ・情報発信の手段は？(町内会がないところでは伝わりにくい) ・自治会同士がコミュニケーションする ・最低限の共通組織として(コアとなる) <p>問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会がないエリア ・市として自治会が必要なものではないのか？

NO.	私たちが知りたい/知るべき「情報」は何か	「情報共有で大事なこと」の中で、一番大事なこと	情報共有の具体的な仕組みで考えた案
10	<ul style="list-style-type: none"> ・NEW観光スポット ・徘徊老人 ・年収の変動、オープンデータ ・子どもの遊び場、集まっている情報 ・返子の起業情報 ・PDFのファイル名 01.02.03.hyoshi、gaiyouとかやめてほしい ・子どもの貧困率について、具体的な数字、両親の職業などについて知りたい ・自然の旬 ・コミュニティイベント情報 ・教育現場でのいじめの問題 ・幼い子どもをもつシングルマザー？(本人の希望があれば) ・一人暮らしの高齢者 ・不審者(ストーカー) ・犯罪情報、オレオレ詐欺、山林への放火(実際ありました)、不審者、民家への侵入等身近な犯罪について ・ゴミ収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけやすい情報発信 ・安心・安全の情報の共有 ・情報の鮮度の高さ ・防災メールの内容の拡充 ・市民間での情報の共有の支援 ・共有する中でルールを作る。個人情報の取り扱い ・高齢者の方への情報共有 ・地図や図など分かりやすく 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力の強化 ・共有 webデータ、ローカルデータ、掲示板、ゴミ集積所 ・you tube、掲示板で共有 ・広報ずしを使った共有 ・情報を足で広げる仕組み ・GISのデータで配布があると ・空き家の情報 ・FMラジオの活用 ・人口のデータをもう少し詳しく ・地域の子どもが掲示板管理 年長者がサポート、世代交流 ・無線 <p>・基礎データのオープンデータ化</p>